

## アートカウンシルにおける文化事業の評価にあたって（基本的な方針）

- 平成25年度は、まず全体を俯瞰してめざすべき姿を見据え、文化事業の体系ごとに目標及び評価の視点を設定する。
- 府市の文化事業の現場を歩き、担当者や現場の声を聞きながら、より効果的な事業になるよう評価・提案を行う。
- 平成26年度予算への反映を考慮し、事業評価の中間とりまとめを行い、年度末までに全体のまとめを行う。

【アートカウンシルがめざすもの】

### 文化はまちの磁力 人が集う、夢が育つ大阪 —大阪が本来持っている文化力を磨き、都市の力に—

#### 文化をつくる

##### 【目標】

- 優れた芸術(作品)の創造を促す
- 優れた芸術の蓄積を再発見する

##### 【主な評価の視点】

- 優れた才能・蓄積の発掘ができたか
- 広く評価してもらう工夫をしたか
- 新たな試み（規制緩和等）に挑んだか
- アーティストを幅広くひきつけたか
- 地域的な広がりが生まれたか
- 適切なサポートができたか

#### 都市をつくる

##### 【目標】

- 文化の持つ潜在力を都市づくりに活かす
- 優れた文化を都市の魅力として発信する

##### 【主な評価の視点】

- 広く情報発信ができたか
  - ・様々なメディアを活用したか
  - ・適切なタイミングで計画・実施できたか
- 集客数や利用者満足度はどうか
- 観光や経済など他分野と連携し広がりを生んだか

#### 未来をつくる

##### 【目標】

- 誰もが文化に触れ参加できる環境をつくる
- 文化を通じて人のつながりを育てる

##### 【主な評価の視点】

- 幅広い層がアクセスできたか
- 豊かな文化資源や優れた芸術を提供できたか
- 発展性やネットワークの広がりはあるか
- 次世代育成につながっているか

##### 【共通の評価の視点】

- 参加性
- 発展性
- 行政が関わる意義

#### A「文化創造の基盤づくり」

- ①大阪の街を使いこなす
- ②市民の思いを都市づくりに活かす
- ③市民の力で文化を育てる

#### B「都市魅力の向上」

- ④地域資源を活かした大阪の魅力向上
- ⑤大阪固有の文化の継承、新たな文化の創造
- ⑥エンターテインメントによる都市の活性化

#### C「人と地域のエンパワーメント」

- ⑦あらゆる施策に文化力を活用
- ⑧未来を担う次世代の育成
- ⑨文化振興への市民意識の醸成